

令和 8 年度 舗装施工管理技術者資格試験

2 級 一 般 試 験

試 験 問 題

試験開始前に次の注意をよく読んで下さい。

〔注 意〕

- ① 合図があるまで、次ページ以降を開いてはいけません。
- ② 解答用紙（マークシート）には受験地、受験番号、氏名のフリガナがすでに記入してありますので、本人のものか確認し、氏名を漢字で記入して下さい。
- ③ 問 1 から問 40 までのすべての問題に解答して下さい。
- ④ 解答は、解答用紙（マークシート）に記入して下さい。解答用紙の注意事項（記入方法）をよく読んで下さい。1つの問題に対し複数の解答があると正解となりません。
- ⑤ 解答を訂正する場合は、消しゴムで丁寧に消して訂正して下さい。消し忘れや消し残しがあると複数の解答とみなされます。
- ⑥ この試験問題の余白を計算などに使用しても、差支えありません。
- ⑦ この試験問題は、一般試験終了時刻まで在席した方のうち希望者に限り持ち帰ることができます。途中で退席する場合は持ち帰りできません。
- ⑧ 試験問題では、「アスファルト・コンクリート舗装」を「アスファルト舗装」「セメント・コンクリート舗装」を「コンクリート舗装」としています。

【問 1】 道路土工工事における盛土材料として望ましい条件に関する次の記述のうち、**不適当なもの**はどれか。

- (1) 施工中に間隙水圧が発生しにくいこと。
- (2) トラフィカビリティーが確保しやすいこと。
- (3) 盛土の安定に支障を及ぼすような膨張あるいは収縮のないこと。
- (4) 盛土の安定のために締固め乾燥密度が小さいこと。

【問 2】 施工環境等に応じたコンクリートの施工に関する次の記述のうち、**不適当なもの**はどれか。

- (1) 海水の作用を直接受ける構造物に使用されるコンクリートの場合には、海洋コンクリートとして施工を行う。
- (2) セメントの水和熱に起因した温度ひび割れが問題となる場合には、マスコンクリートとして施工を行う。
- (3) 日平均気温が 25℃ を超えることが予想される場合には、暑中コンクリートとして施工を行う。
- (4) 日平均気温が 10℃ 以下になることが予想される場合には、寒中コンクリートとして施工を行う。

【問 3】 “公共工事標準請負契約約款”に関する次の記述のうち、**正しいもの**はどれか。

- (1) 現場代理人と監理技術者は、兼務することができない。
- (2) 施工方法は、発注者がその責任において定める。
- (3) 現場代理人は、原則として工事現場に常駐し、その運営、取締りを行う。
- (4) 設計図書に工事材料の品質が明示されていない場合は、高品質のものを使用する。

【問 4】 道路土工に用いる機械ボーリングに関する次の記述のうち、**不適当なもの**はどれか。

- (1) 原位置試験を実施する場合は、孔底のスライムを含めそのままの状態で行う。
- (2) ボーリング機械は、一般に回転式ボーリング機械を使用する。
- (3) 機械ボーリングは、土質および岩盤を調査し、地質構造や地下水位を確認するために行う。
- (4) 孔口は、ケーシングパイプまたはドライブパイプで保護する。

【問 5】 路床の支持力評価に関する次の記述のうち、**適当なもの**はどれか。

- (1) 厚さ 20 cm 未満の層は、CBR の大きい方の層に含めて計算し、地点の CBR を求める。
- (2) 地点の CBR の平均値が 10.3 で標準偏差が 3.8 の場合、区間の CBR は 6.5 である。
- (3) 区間の CBR が 14.6 の場合、設計 CBR は 15 である。
- (4) 改良した層の CBR については、CBR の上限を設けない。

【問 6】 舗装の設計に関する次の記述のうち、**不適當なもの**はどれか。

- (1) 排水性舗装の基層は、遮水性を有する層とする。
- (2) 路盤は、一般に原地盤や盛土等を安定処理工法等で改良して築造する。
- (3) 車道における舗装でも、舗装厚が薄い場合、基層を設けない場合がある。
- (4) コンクリート版の表面を表層として用いる場合は、平坦性などの路面としての性能が求められる。

【問 7】 各種の舗装に関する次の記述のうち、**不適當なもの**はどれか。

- (1) トンネル内舗装においては、ヘッドライトによる眩惑を低減させるため、できるだけ暗色系の舗装を採用する。
- (2) 半たわみ性舗装は、開粒度タイプのアスファルト混合物の空隙に浸透用セメントミルクを浸透させたものである。
- (3) 橋面舗装では、舗装と床版の双方への接着性に優れた防水層および接着層の選定が必要である。
- (4) インターロッキングブロック舗装の構造設計は、一般にアスファルト舗装の設計法を用いる。

【問 8】 アスファルト舗装に用いる骨材に関する次の記述のうち、**不適當なもの**はどれか。

- (1) 天然砂には、採取場所によって川砂、山砂および海砂などがある。
- (2) スクリーニングスは、アスファルトプラントのドライヤで加熱された骨材から発生する粉末状のものである。
- (3) 硬質骨材は、摩耗抵抗性、すべり抵抗性などに優れた天然または人工の骨材である。
- (4) 鉄鋼スラグは、路盤材料や加熱アスファルト混合物の骨材として用いられる。

【問 9】 舗装に用いる瀝青材料に関する次の記述のうち、**不適当なもの**はどれか。

- (1) 舗装用石油アスファルトは、一般にアスファルトの軟化点で分類される。
- (2) 石油アスファルト乳剤は、石油アスファルトを界面活性剤などで水中に分散させたものである。
- (3) ゴム入りアスファルト乳剤は、ポーラスアスファルト舗装などのタックコートとして用いられる。
- (4) 改質アスファルトは、ポリマーや天然アスファルトなどを加えて、石油アスファルトの性状を改善したものである。

【問 10】 アスファルト混合物に関する次の記述のうち、**不適当なもの**はどれか。

- (1) 粗粒度アスファルト混合物は、一般に最大粒径が 20 mm で基層に用いられる混合物である。
- (2) 常温アスファルト混合物は、粗骨材、細骨材などをアスファルト乳剤などと混合し、常温で舗設できる混合物である。
- (3) 密粒度アスファルト混合物（13F）は、密粒度アスファルト混合物（13）に比べてフィラーが多く、アスファルト量が少ない。
- (4) 密粒度アスファルト混合物の配合設計は、原則としてマーシャル安定度試験で行う。

【問 11】 コンクリート舗装に関する次の記述のうち、**不適当なもの**はどれか。

- (1) 普通コンクリート舗装は、フレッシュコンクリートを締め固めて、横目地と縦目地で区切られた、矩形のコンクリート版を並べたように構築される。
- (2) 普通コンクリート舗装は、縦そり目地にタイバーを用いる。
- (3) 連続鉄筋コンクリート舗装は、縦方向鉄筋を連続的に配置したコンクリート舗装である。
- (4) 連続鉄筋コンクリート舗装は、横収縮目地にダウエルバーを用いる。

【問 12】 再生加熱アスファルト混合物に使用する素材、材料に関する次の記述のうち、**不適当なもの**はどれか。

- (1) アスファルトコンクリート再生骨材は、旧アスファルトの針入度あるいはアスファルトコンクリート再生骨材の圧裂係数のいずれかの目標値を満足する必要がある。
- (2) 既設アスファルト舗装の切削材は、アスファルトコンクリート再生骨材の品質に適合すれば使用することができる。
- (3) 再生用添加剤は、旧アスファルトの針入度などの性状を回復させる目的で添加する材料である。
- (4) セメントコンクリート再生骨材は、新規骨材と同等の扱いで使用されている。

【問 13】 構築路床の築造工法として、**不適当なもの**はどれか。

- (1) 安定処理
- (2) 置換え
- (3) 圧密・排水
- (4) 盛土

【問 14】 加熱アスファルト混合物の製造に関する次の記述のうち、**不適当なもの**はどれか。

- (1) 再生混合物の製造方式には、ドラムドライヤ混合式、併設加熱混合式、間接加熱混合式がある。
- (2) 新規混合物の製造プラントには、バッチ式プラント、連続式プラントがある。
- (3) ミキサでの混合時間は、過度な混合によるアスファルトの劣化を防ぐため、骨材全体がアスファルトで被膜されるまでの時間とする。
- (4) アスファルト再生骨材に含まれる旧アスファルト分は、再生混合物の強度を低下させるため、燃焼ガスを用いた高温処理により極力取り除くようにする。

【問 15】 加熱アスファルト混合物の施工に関する次の記述のうち、**不適当なもの**はどれか。

- (1) 仕上げ転圧は、不陸の修正やローラマークの消去のために行うものである。
- (2) 転圧終了後の交通開放は、舗装表面の温度がおおむね 50℃ 以下となってから行う。
- (3) アスファルト混合物の敷きならし温度は、一般に 110℃ を下回らないようにする。
- (4) ローラは、一般にアスファルトフィニッシャ側に案内輪を向けて転圧を行う。

【問 16】 改質アスファルト混合物の舗設に関する次の記述のうち、**不適当なもの**はどれか。

- (1) 望ましい舗設温度は、製品により異なるので、製造メーカーの仕様を参考にするとよい。
- (2) 改質アスファルトは付着しやすいため、ローラへの付着防止として、軽油や灯油を通常より多めに噴霧器等で塗布するとよい。
- (3) 締固めは、可能な範囲で大型のローラを使用して転圧するとよい。
- (4) コールドジョイント部は、温度が低下しやすく締固め不足になりやすいため、ガスバーナ等で既設舗装部分を加熱するとよい。

【問 17】 普通コンクリート版の養生に関する次の記述のうち、**不適当なもの**はどれか。

- (1) 初期養生と後期養生を比べると、初期養生の方が養生効果が大きい。
- (2) 初期養生は、コンクリート表面の急激な乾燥を防止するため、コンクリート版の表面仕上げ後ただちに行う。
- (3) 後期養生は、養生マットなどを用いてコンクリート版表面をすき間なく覆い、湿潤状態になるように散水する。
- (4) 初期養生は、一般に舗設したコンクリート版表面に養生剤を噴霧する方法で行われる。

【問 18】 グースアスファルト舗装に関する次の記述のうち、**不適当なもの**はどれか。

- (1) グースアスファルト混合物は、通常のアスファルトプラントで混合する。
- (2) 混合されたグースアスファルト混合物は、加熱保温装置および攪拌装置を持つクッカー車で混練、運搬する。
- (3) グースアスファルト混合物は、通常、グースアスファルト専用のフィニッシャーで敷きならす。
- (4) 敷きならされたグースアスファルト混合物は、ロードローラとタイヤローラを用いて締め固める。

【問 19】 密粒度アスファルト混合物の締固めの順序として、**適当なもの**はどれか。

- (1) 初転圧→二次転圧→仕上げ転圧→継目転圧
- (2) 初転圧→二次転圧→継目転圧→仕上げ転圧
- (3) 初転圧→継目転圧→二次転圧→仕上げ転圧
- (4) 継目転圧→初転圧→二次転圧→仕上げ転圧

【問 20】 アスファルト舗装の調査に関する次の記述のうち、**適当なもの**はどれか。

- (1) DF テスタを用いて、路面の段差を測定した。
- (2) 横断プロファイルメータを用いて、わだち掘れ量を測定した。
- (3) 振り子式スキッドレジスタンステストを用いて、ひび割れ率を測定した。
- (4) ラベリング試験機を用いて、動摩擦係数を測定した。

【問 21】 アスファルト舗装の損傷とその原因の1つとして考えられる項目の組合せとして、**不適当なもの**はどれか。

- | [損傷] | [原因] |
|-------------------|------------------|
| (1) 構造物と路面との段差 | アスファルト混合物層の締固め不足 |
| (2) コルゲーション | モルタル分のすり減り |
| (3) 車輪走行部の亀甲状ひび割れ | 路床・路盤の支持力低下 |
| (4) ポットホール | 基層の剥離 |

【問 22】 アスファルト舗装の補修計画において、構造設計が必要となる工法として、**不適当なもの**はどれか。

- (1) 局部打換え工法
- (2) オーバーレイ工法
- (3) 表面処理工法
- (4) 路上路盤再生工法

【問 23】 施工計画の立案に関する次の記述のうち、**不適当なもの**はどれか。

- (1) 補修工事においては、既設舗装材の撤去などを伴うことが多いので、それら発生材の低減または有効利用に十分配慮するとよい。
- (2) 構造、材料、機械および工法などにおいて新技術の導入が得策と考えられる場合は、積極的に適用を検討するとよい。
- (3) 設計図書と現地条件が不一致であることが判明した場合は、契約図書である設計図書を優先させて施工計画を立てるとよい。
- (4) 補修工事においては、過去における補修の履歴、舗装や構造物の台帳などを活用するとよい。

【問 24】 再生加熱アスファルト混合物の材料に用いるアスファルトコンクリート再生骨材の品質管理項目として、**不適当なもの**はどれか。

- (1) 旧アスファルトの含有量
- (2) 骨材の微粒分量
- (3) 旧アスファルトの針入度
- (4) 動的安定度

【問 25】 道路工事における工程表に関する次の記述のうち、**不適当なもの**はどれか。

- (1) ネットワーク工程表は、全体工程の進捗状況の中でネックとなっている工程が把握できる。
- (2) バーチャート工程表は、実績を書き入れることによって、一目で各工程の進捗状況がわかる。
- (3) バーチャート工程表は、各工程の進捗状況が他の工程に及ぼす影響など、工種間のつながりを把握するのに適している。
- (4) ネットワーク工程表は、各工種の工程のつながりをもとに組み立てるので、着手時期、施工順序が明らかになる。

【問 26】 道路工事の原価管理に関する次の記述のうち、**適当なもの**はどれか。

- (1) 工事原価における共通仮設費は、間接工事費に含まれる。
- (2) 純工事費は、直接工事費と現場管理費の合計である。
- (3) 工事価格は、直接工事費と共通仮設費の合計である。
- (4) 工事原価における現場管理費は、直接工事費に含まれる。

【問 27】 道路工事において実施した安全対策に関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

- (1) 歩行者が安全に通行できるよう、車道とは別に幅 1.5 m の歩行者用通路を確保した。
- (2) 工事の途中で周囲の路面と段差が生じたので、10 % の勾配ですりつけて交通開放した。
- (3) 工事を予告する標示板を工事箇所の手前 200 m の路側に設置した。
- (4) 2 車線道路を 1 車線に規制するので、車道幅員を 3.5 m とした。

【問 28】 路盤材料と品質管理項目に関する次の組合せのうち、**不適当なもの**はどれか。

〔路盤材料〕

〔品質管理項目〕

- (1) 石灰安定処理 …………… 一軸圧縮強さ
- (2) 粒度調整碎石 …………… 修正 CBR
- (3) 瀝青安定処理 …………… マーシャル安定度
- (4) セメント安定処理 …………… 曲げ強度

【問 29】 舗装の品質管理に関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

- (1) 加熱アスファルト混合物のアスファルト量を管理するため針入度試験を1日2回実施した。
- (2) 粒度調整路盤の粒度を管理するためふるい分け試験を1日2回実施した。
- (3) セメントコンクリート版のコンシステンシーを管理するためスランプ試験を1日2回実施した。
- (4) アスファルトプラントの定期点検を年1回実施した。

【問 30】 コンクリート舗装工事におけるコンクリート版の出来形管理項目として、**不適当なもの**はどれか。

- (1) 幅
- (2) 平たん性
- (3) 一軸圧縮強度
- (4) 厚さ

【問 31】 舗装の品質検査における検査項目で、締固め度と粒度が**該当しない工種**はどれか。

- (1) セメントコンクリート版
- (2) 粒度調整路盤
- (3) セメント安定処理路盤
- (4) アスファルト混合物層

【問 32】 路床や路盤の支持力を評価する試験として、**適当なもの**はどれか。

- (1) 平板載荷試験
- (2) 曲げ試験
- (3) ホイールトラッキング試験
- (4) マーシャル安定度試験

【問 33】 「労働基準法」の内容に関する次の記述のうち、**誤っているもの**はどれか。

- (1) 労働条件は、労働者が人たるに値する生活を営むための必要を充たすべきものでなければならない。
- (2) 労働条件は、使用者がその権限・裁量のもとに決定すべきものでなければならない。
- (3) 使用者は、暴行、脅迫、監禁その他精神又は身体の自由を不当に拘束する手段によって、労働者の意思に反して労働を強制してはならない。
- (4) 使用者は、労働者が労働時間中に、選挙権その他公民としての権利を行使し、又は公の職務を執行するために必要な時間を請求した場合においては、拒んではならない。

【問 34】 「建設業法」の内容に関する次の文章中の に当てはまる数値や語句の組合せとして、**正しいもの**はどれか。

建設工事の発注者から直接請け負った工事について、総額 ① 万円（建築一式工事の場合は 8,000 万円）以上の下請契約を締結する場合は、 ② の許可が必要である。

- (1) ①5,000 ②一般建設業
- (2) ①3,000 ②一般建設業
- (3) ①5,000 ②特定建設業
- (4) ①3,000 ②特定建設業

【問 35】 「道路法」の内容に関する次の記述のうち、**正しいもの**はどれか。

- (1) 道路の種類は、高速自動車国道、一般国道、都道府県道、市町村道、農道である。
- (2) すべての国道の維持、修繕は、国土交通大臣が行う。
- (3) 都道府県道とは、都道府県知事はその路線を認定したものである。
- (4) 市町村道の管理は、その道路が存する都道府県が行う。

【問 36】 「環境基本法」における公害の発生の要因として、**該当しないものはどれか。**

- (1) 景観の阻害
- (2) 土壌の汚染
- (3) 大気の汚染
- (4) 悪臭

【問 37】 「騒音規制法」に定める特定施設の設置の届出に関する次の文章中の に当てはまる語句の組合せとして、**正しいものはどれか。**

指定地域内において工場又は事業場に特定施設を設置しようとする者は、その特定施設の設置の工事の開始の日の 30 日前までに、 ① 省令で定めるところにより、特定施設の種類ごとの数、騒音の防止の方法等について ② に届けなければならない。

- (1) ①厚生労働 ②都道府県知事
- (2) ①環境 ②都道府県知事
- (3) ①環境 ②市町村長
- (4) ①厚生労働 ②市町村長

【問 38】 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に定める産業廃棄物として、**該当しないものはどれか。**

- (1) 道路工事に伴って発生したコンクリートの破片
- (2) 道路の植樹帯の剪定に伴って発生した枝葉
- (3) 建設工事に伴って発生した廃油
- (4) 工作物の除去に伴って発生した木くず

【問 39】 職場におけるハラスメントを防止するために、事業主が雇用管理上必ず講ずべき措置として、**不適当なものはどれか。**

- (1) ハラスメントの発生に至らずその恐れがある段階では、相談の対象外とする。
- (2) 事実関係を迅速かつ正確に確認する。
- (3) 相談窓口をあらかじめ定め、労働者に周知する。
- (4) 事実関係の確認ができた場合には、行為者に対する措置を適正に行う。

【問 40】 一般社団法人 日本道路建設業協会が公開している“舗装技術者の倫理要綱”において、舗装技術者が遵守すべき倫理に関する次の記述のうち、**不適當なもの**はどれか。

- (1) 業務上知り得た秘密を他に漏らしたり転用したりしない。ただし、正当な理由がある場合はこの限りではない。
- (2) 事業の依頼者、国民および社会等に対して公正・不偏な態度で職務を履行する。ただし、自己の属する組織に対してはこの限りではない。
- (3) 幅広い分野との連携により、自然災害の抑止など国民の生命・財産等を守るために尽力する。
- (4) 舗装の施工や補修等に当たっては、環境及び地域の文化等の地域特性を尊重し地域の声を傾聴する。

〔以下余白〕